

学生募集要項

海技士教育科海技専攻課程

海技士コース

(三級航海) (三級機関)



独立行政法人海技教育機構
海 技 大 学 校

目 次

1. アドミッション・ポリシー等について	
(1) 海技大学校	1
(2) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	1
(3) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	1
(4) ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）	1
2. 海技士コースの出願	
(1) 海技士コース（三級航海）（三級機関）の出願資格	2
(2) 海技士コース（三級航海）（三級機関）の卒業時の特典	4
(3) 出願から入学手続までの流れ	4
3. 出願手続き	
(1) 出願から卒業までのスケジュール	5
(2) 出願手続	5
(3) 入学検定料の取り扱いについて	5
(4) 入学試験	6
(5) 合格発表	6
4. 給付制度等	
(1) 教育訓練給付制度（厚生労働大臣指定講座）	6
(2) 海技資格取得研修補助（全日本海員組合）	8
(3) 教育訓練給付補完給付（全日本海員組合）	8
(4) 地方運輸局等から受講指示を受けられる方へ	9
5. 授業料等の諸経費	
(1) 学費等諸経費	9
(2) 学生寮入寮にかかる費用	10
(3) 請求書について	10
6. 個人情報の取り扱いについて	10
7. 学校見学のご案内	10
8. 記入例	
(1) 入学願書：受講時に在職している場合	11
(2) 入学願書：受講時に離職している場合	12
(3) 乗船履歴記入用紙	13
9. アクセス及びお問い合わせ先	14

1. アドミッション・ポリシー等について

(1) 海技大学校

独立行政法人海技教育機構（JMETS）は、船舶の運航に関する学術及び技能を教授すること等により、船員の養成及び資質の向上を図り、安定的かつ安全な海上輸送の確保を図ることを目的とした国土交通省所管の法人です。

海技大学校は、船員（船員であった者及び船員になろうとする者を含む。）に対し、船舶の運航に関する高度の学術及び技能を教授すること等により、船員の資質の向上を図り、もって海上輸送の安全の確保に資することを目的とする、船員教育機関です。

(2) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

海技士コース（三級）は、船舶に乗船した経験を有する海技従事者を対象に、実務経験を理論的に再構成し、海技士としての専門性と資格取得を支援する教育を行います。

本コースでは、次のような資質・意欲を備えた者の入学を期待しています。

- 船舶運航に関する実務経験を有し、海技士としての知識・技能の向上と資格取得に強い意欲を持つ者
- 海技士国家試験に必要な身体検査基準を満たし、海上勤務に耐えうる心身の健全性を備えた者
- 海技士免許の取得を通じて、船員として長期にわたり海上勤務に従事する明確な意思を有する者
- 海技士国家試験に係る専門教育を理解できる基礎学力と学習意欲を有する者
- 規律を重んじ、船内生活に準じた団体生活に適應できる協調性・自律性を備えた者

(3) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

海技士コース（三級）は、海技士としての知識・技能の向上と資格取得を支援するため、次のような教育課程及び指導方針によって教育を行います。

- 海技士国家試験（三級）に合格できる水準の専門教育を行う
- 実務経験を基盤として、海技士としての専門的知識・技能・資質を体系的に教育する

(4) ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

海技士コース（三級）では、以下の要件を満たした者に対し、卒業を認定します。

- 全ての必修科目の単位認定を受けること
- 欠席日数が16日を超えないこと

2. 海技士コースの出願

(1) 海技士コース（三級航海）（三級機関）の出願資格

船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則 別表第三の海技士身体検査基準表の身体検査基準に達している者で、四級海技士（航海）若しくは四級海技士（機関（内燃機関含む））の免許を有し、卒業時において三級海技士（航海）若しくは三級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある者。



海技士コース
（三級）HP

<乗船履歴表>

三級海技士（航海）または三級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 船	期 間	資 格	職 務
三級海技士 （航海）	・総トン数 1600 トン以上の沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	3 年以上 ※		船舶の運航
	・総トン数 500 トン以上の沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	2 年以上 ※	四級海技士 （航海）	航海士 （一等航海士を除く）
	・総トン数 200 トン以上の沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 200 トン以上の丙区域内において従業する漁船 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	1 年以上	四級海技士 （航海）	船長又は 一等航海士
	第一種近代化船、第二種近代化船、第三種近代化船又は第四種近代化船	6 月以上 ※	船橋当直 三級海技士 （航海）	運航士

試験の種別	船 舶	期 間	資 格	職 務
三級海技士 (機関)	・出力 3000kW 以上の推進機関を有する沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	3 年以上 ※		機関の運転
	・出力 1500kW 以上の推進機関を有する沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	2 年以上 ※	四級海技士 (機関)	機関士 (一等機関士を除く)
	・出力 750kW 以上の推進機関を有する沿海区域を航行区域とする船舶 ・総トン数 20 トン以上の近海区域若しくは遠洋区域を航行区域とする船舶 ・出力 750kW 以上の推進機関を有する丙区域内で従業する漁船 ・総トン数 20 トン以上の乙区域若しくは甲区域内において従業する漁船	1 年以上	四級海技士 (機関)	機関長又は一等機関士
	第一種近代化船、第二種近代化船、第三種近代化船又は第四種近代化船	6 月以上 ※	機関当直 三級海技士 (機関)	運航士

※ P4 記載の (2) 卒業時の特典②適用

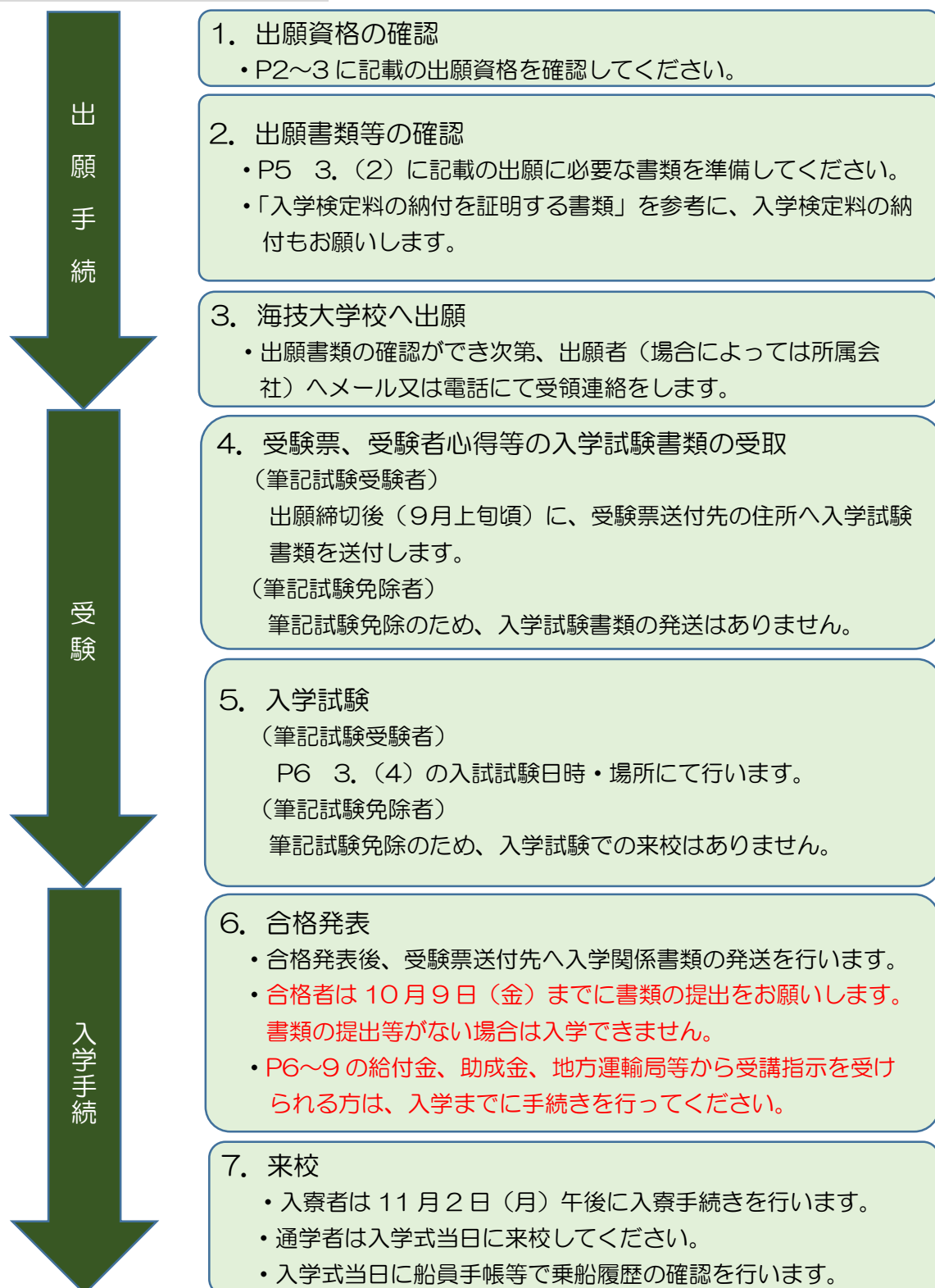
(注)

- ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前 15 年以内のものです。ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。
- ・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第 27 条の 3 にて、当該コースの在学期間の 1/2 が同規則第 24 条第 3 項に規定する試験開始期日の前 5 年以内のものとして認められます。

(2) 海技士コース（三級航海）（三級機関）の卒業時の特典

- ①本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。
三級航海：三級海技士(航海)
三級機関：三級海技士(機関)
- ②卒業後の国家試験受験時に、在学期間の 1/2 が乗船履歴として加算されます。
(P2～3 に記載されている乗船履歴表の期間欄に※があるもののみ適用)

(3) 出願から入学手続までの流れ



3. 出願手続き

(1) 出願から卒業までのスケジュール

事項	日程
出願期間	令和8年8月10日(月)～令和8年9月4日(金) (書類必着)
入学試験日時	令和8年9月14日(月) 10:00 集合 ※筆記試験受験者のみ来校
合格発表日時	令和8年9月18日(金) 15:00 発表
入学承諾書提出期限	令和8年10月9日(金) (書類必着)
入寮可能日	令和8年11月2日(月) (年末年始は学生寮を閉鎖します。)
入学式(入学日)	令和8年11月4日(水)
修業期間	令和8年11月4日(水)～令和9年3月12日(金) 約4か月
卒業式(卒業日)	令和9年3月12日(金)

※土曜日に授業を実施する場合があります。詳細は入学後に案内します。

(2) 出願手続

○出願に必要な書類は下記のとおりです。

- ・入学願書 ・予備身体検査証明書 ・乗船履歴記入用紙
- ・船員手帳のコピー又は乗船履歴の確認書類 ・写真
- ・入学検定料貼付台紙(入学検定料の納付を証明する書類)
- ・卒業証書のコピー又は卒業証明書の原本(入学試験免除希望者のみ)

○出願書類に不備があるものは受付できません。別紙「提出書類チェックリスト」にて書類の確認を行い、「提出書類チェックリスト」を同封のうえ、送付してください。

○乗船履歴が受験資格を満たしているか不明な場合は、事前に海技大学校教務課へお問い合わせください。

○封筒に「コース名」と「出願書類在中」を記載してください。

(3) 入学検定料の取り扱いについて

本校入学試験において納入された入学検定料(33,550円)は原則として返還しませんが、下記の事由に該当する場合は入学検定料(振込手数料を除く額)の返還が認められます。返還を希望する場合は入学試験日までに教務課宛に連絡してください。

(入学検定料の納入のみで出願せずに入学検定料の返還を希望する場合は、本校では出願書類が手元になく出願者の連絡先が判らないため、必ず出願者から連絡してください。)

- ①入学検定料を納付したが、出願しなかった場合
- ②出願が受理されなかった場合(出願資格なし、書類不備)
- ③入学検定料を誤って納入した場合(二重払い、過払い)

(4) 入学試験

①入学試験日時・場所 ※筆記試験受験者のみ来校

- ・実施日 令和8年9月14日(月) 10:00 集合
- ・実施場所 海技大学校(兵庫県芦屋市西蔵町12-24)

②入学試験内容

- ・身体検査 指定医師により証明された「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診し、当校指定の様式で提出してください。※合否の基準は船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第三の海技士身体検査基準表に準じます。
- ・筆記試験 船舶の運航(又は機関の運転)実務に関する筆記試験(60分)
航海: 航海、航海計器、運用、気象、航海法規
機関: 内燃機関、ボイラ、プロペラ装置、補機、電気工学
- ・筆記試験の免除 下記に該当する場合は、願い出により筆記試験が免除されます。

高等学校を卒業した者、本校通信教育科普通科A課程を卒業した者
海員学校の本科を昭和63年以降に卒業した者若しくはこれと同等以上の学力があると認められた者

(5) 合格発表

①合格発表日時・発表方法

- ・実施日 令和8年9月18日(金) 15:00 発表
- ・発表方法 海技大学校内に合格者一覧を掲示するとともに、入学願書に記載の受験票等送付先へ試験結果通知書を送付します。

②合格後の手続き(合否について電話・メールでの問い合わせには一切お答えできません。)

- ・合格発表後、受験票送付先へ入学関係書類の発送を行います。
受験票送付先から住所変更がある場合は事前に教務課まで連絡してください。
- ・合格者は令和8年10月9日(金)までに書類の提出をお願いします。
書類の提出がない場合は入学できません。

4. 給付制度等

受給は、本人が入学料・授業料を負担し、卒業した場合のみとなります。
入学までに各自で手続きを行ってください。

(1) 教育訓練給付制度(厚生労働大臣指定講座)

「専門実践教育訓練講座」が対象です。指定番号は次のとおりです。

(三級航海) 2812008-2510011-2

(三級機関) 2812008-2510021-5

専門実践教育訓練給付金を受けるためには、ハローワークの訓練対応キャリアコンサルタントによる訓練前キャリアコンサルティングを受けて、就業の目標、職業能力の開発・向上に関する事項を記載した「ジョブ・カード」の交付を受け、受講開始日の2週間前までにハローワークで受給資格確認の手続きを行う必要があります。出願前に各自で受給資格を満たしているか確認し、入学前に各自で手続きしてください。

詳細は教育訓練給付金の検索システム
 (<https://www.kyufu.mhlw.go.jp/kensaku/>)
 で確認してください。



教育訓練給付金の
検索システム

受給資格	I または II に該当し、厚生労働大臣が指定する専門実践教育訓練を修了する見込みで受講している方と修了した方です。 I 雇用保険の被保険者（在職者） 専門実践教育訓練の受講を開始した日において、被保険者のうち、支給要件期間が 3 年以上（※）ある方 II 雇用保険の被保険者であった方（離職者） 受講開始日において被保険者でない方のうち、被保険者資格を喪失した日（離職日の翌日）以降、受講開始日までが 1 年以内（妊娠、出産、育児、疾病、負傷などで教育訓練給付金の適用対象期間の延長が行われた場合には最大 20 年以内）であり、かつ支給要件期間が 3 年以上（※）ある方 （※）上記 I、II とも、当分の間、初めて教育訓練給付金の支給を受けようとする方は支給要件期間が 2 年以上あれば支給対象者となります。 なお、教育訓練給付金を受給したことがある場合は、前回の教育訓練給付金支給日から今回の受講開始日の前日までに 3 年以上経過している必要があります。
支給額	・専門実践教育訓練給付金の支給額は、教育訓練経費の 50%（年間上限 40 万円）となります。ただし、その 50%に相当する額が、4 千円を超えない場合は支給されません。 ・専門実践教育訓練の修了後 1 年以内に、目標として設定した資格を取得等し、雇用保険の被保険者となる就職をした場合または就職をしている場合は、教育訓練経費の 70%（年間上限 56 万円）で専門実践教育訓練給付金を再計算し、既支給分との差額を支給します。ただし、その 70%に相当する額が、4 千円を超えない場合は支給されません。 ・上記の支給の要件を満たしたうえで、訓練修了後の賃金が受講開始前と比較して 5%以上上昇した場合は、教育訓練経費の 80%（年間上限 64 万円）で専門実践教育訓練給付金を再計算し、既支給分との差額を支給します。ただし、その 70%に相当する額が、4 千円を超えない場合は支給されません。 ※ 10 年の間に複数回専門実践教育訓練を受講する場合は、最初に専門実践教育訓練給付金を受給した専門実践教育訓練の受講開始日から 10 年を経過するまでの間に受講開始した専門実践教育訓練給付金の合計額は、192 万円が限度となります。
請求手続 （本人）	・入学 2 週間前までに、出願者ご自身の住所を管轄するハローワークへ申請をしてください。 ・卒業後の支給申請でハローワークへ提出する次の書類は、卒業時に海技大学校からお渡します。 「授業料等振込証明書」 「専門実践教育訓練修了証明書」 「教育訓練給付受講証明書」
問合せ先	最寄りのハローワーク

（令和 8 年 3 月現在）

(2) 海技資格取得研修補助（全日本海員組合）

(<https://www.jss01.jp/publics/index/49/>)



全日本海員組合
資格取得研修

受給資格	全日本海員組合の組合員
給付額	入学検定料・受講料（入学科・教材費を含む。）の全額相当額。ただし、同一の海技士資格について 2 回目以上の受講である場合は、受講料の半額相当額の給付となります。
請求手続 （本人）	I 出願前に申請を行ってください。 II（一財）全日本海員福祉センターへ受講前に事前申し込みとして「海技資格・技能講習受講申請書」を提出します。（申請書用紙は（一財）全日本海員福祉センターのホームページよりダウンロードまたは全日本海員組合各支部にあります。） III（一財）全日本海員福祉センターにて審査後、「海技資格取得研修受講決定通知」と「研修補助・交通費補助申請書」が送付されます。受講者は受講決定通知受領後、海技大学校で受講してください。 IV 受講後、「研修補助・交通費補助申請書」を（一財）全日本海員福祉センターへ提出。提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書」と※「入学検定料の振込を証明できる書類（宛名は出願名）」を添付してください。
問合せ先	（一財）全日本海員福祉センター TEL03-3475-5390

（令和 8 年 3 月現在）

(3) 教育訓練給付補完給付（全日本海員組合）

(<https://www.jss01.jp/publics/index/49/>)



全日本海員組合
資格取得研修

受給資格	次の 2 つの要件を満たしていること。 I 全日本海員組合員の組合員（申請時において前回の受給から 3 年以上が経過していること） II 教育訓練給付金を受給済の方。
給付額	入学検定料・受講料（入学科・教材費を含む。）の 3 割相当額（限度額 15 万円）。
請求手続 （本人）	教育訓練給付金を受領後、所定の補助申請書に教育訓練給付金の支給証明書等を添付して（一財）全日本海員福祉センターへ申請してください。 提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書」と※「入学検定料の振込を証明できる書類（宛名は出願名）」を添付してください。（補助申請書は（一財）全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。）
問合せ先	（一財）全日本海員福祉センター TEL03-3475-5390

（令和 8 年 3 月現在）

〔注意事項〕

- ◎（１）教育訓練給付金（厚生労働省）と、（２）海技資格取得研修補助（全日本海員組合）とは重複して受給することはできません。

◎ (2) 海技資格取得研修補助(全日本海員組合)と(3)教育訓練給付補完給付(全日本海員組合)とは、重複して受給することはできません。

◎ (2)と(3)で記載をしている「入学検定料の振込を証明できる書類」は次のとおりです。

- ・銀行窓口をご利用される場合…振込金領収書(原紙)
- ・ATMをご利用される場合… ※ 利用明細書(コピー)
- ・インターネットバンキングで振り込んだとき… ※ 振込明細書を印刷したもの

例(ATM又はインターネットバンキングの場合)
振込者名: ニュウガクケンテイリョウ カイギタロウ

※ATM又はインターネットバンキングをご利用される場合は、振込者名について、「ニュウガクケンテイリョウ」を振込者名の前に記載した上で、振り込みをしてください。

入学検定料の振込を証明できる書類は給付手続きで使用するもので、領収書等はなくさないよう大切に保管してください。(入学検定料の領収書は発行できません。)

(4) 地方運輸局等から受講指示を受けられる方へ

入学時に船員失業保険受給中で地方運輸局等から「受講指示書」を受けた方は、失業保険金の他に移転費、技能習得手当等が支給されます。

受講指示を受けようとする失業保険受給中又は受給見込の方は、運輸局等(海のハローワーク)へ願書提出前に必ずご相談ください。

5. 授業料等の諸経費

(1) 学費等諸経費

学費等諸経費は、概算で下記のとおりです。

費用 \ コース	三級航海	三級機関
入学料	102,000	102,000
授業料	124,000	124,000
教科書代	58,000	26,000
自治会経費	6,500	6,500
合計	290,500	258,500

(単位:円)

※ 国家試験申請手数料等が別途必要です。

(2) 学生寮入寮にかかる費用

入寮者は事前に所定の入寮誓約書を提出することで、学生寮に入寮することができます。

入学関係書類送付時にあわせて入寮誓約書も送付しますので、入学時に入寮希望の方は令和8年10月9日（金）までに必ず提出してください。

※ 学生寮の入寮状況によって入寮できない場合があります。

入寮に必要な費用は概算で下記のとおりです。支払いは月単位で、日割りには対応していません。

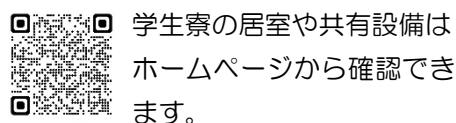
入寮時及び入寮期間中に変更する場合があります。

①寄宿料…月額 4,000 円

②寮生費…月額 22,000 円 合計 26,000 円

※ 寮生費は、光熱費・寮内雑費・毛布洗濯代・環境整備費等の費用です。

※ 学生寮では、給食はありません。



(3) 請求書について

- ・（１）（２）の記載されている費用等は改定される場合があります。
- ・諸経費等については、入学約 1 か月後に請求書を発行します。
納期は、概ね発行後 3～4 週間です。
- ・海技大学校では以下の 2 種類の請求書を発行しています。
 - ①入学料・授業料・寄宿料は、海技教育機構の収入として計上されるため、海技教育機構理事長名義で、適格請求書を発行します。
 - ②寮生費・自治会経費・教材費など受講生等預り金に相当する経費に関しては、海技教育機構の収入として計上されないため、海技大学校長名義で、適格請求書発行事業者番号を記載しない請求書を発行します。

6. 個人情報の取り扱いについて

本校が入学試験に関して取得した個人情報は、次の目的にのみ利用します。

- ①出願書類記載内容の確認、受験案内・受験票・入学試験結果の送付、入学試験・入学に関する事務業務。
- ②広報のための統計的集計。

7. 学校見学のご案内

教室・図書室・実習施設等、当日可能な限りご見学いただけます。

見学日時や内容等をあらかじめ（見学希望日の 2 週間以上前に）連絡してください。

見学可能日：平日 9:30～12:00 14:00～17:00 見学時間：1 時間半前後

8. 記入例

(1) 入学願書：受講時に在職している場合

高等学校卒業者は、筆記試験の免除を願うことができます。卒業証明書又は卒業証書のコピーを添付してください。

住民票どおり記入
ふりがなを忘れずに記入

住民票どおり記入
ふりがなと郵便番号を忘れずに記入

教務課より受験案内等送付します

入寮の有無を記入

卒業後、海技免許を取得できる学校に在籍した場合は船員教育欄へ記入

現職を○で囲む

会社名等をここに記入

所有免許及び免許をすべて記入

該当する支払方法を○で囲み宛名を記載

会社払いの場合のみすべて記入

海技大学校 入学願書 (三級用)

入学試験筆記試験免除の
願い出を
する・しない

受験番号

記入しない

志望コースを○で囲む

記載した年月日を記載する

生年月日
試験当日の年齢を記入

連絡先の電話番号・メールアドレスを記入

現住所以外から通学時のみ記載
決まってい
ない場合は
「未定」と記載

○で囲む

在職中のため記入しない

※入学案内時にお送りする「入寮誓約書」を入寮時に提出がなければ入寮できません。
※GWに学生寮閉鎖予定です。
※空室状況により入寮できない場合があります。

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長		令和 年 月 日	
私は、海技大学校 海技士コース 三級航海 三級機関		に入学を希望します。 (志望コースを○で囲う)	
ふりがな	かいだい たろう	性別	生 年 月 日
氏 名	海 大 太 郎	男・女	昭和 平成 令和 △△年△△月△△日(満△△才)
ふりがな	〇〇けん〇〇〇し〇〇〇ちよう		
現住所	〒△△△-△△△△ 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△		
電話	(△△△) △△△△ - △△△△	日中連絡先	携帯電話 (△△△) △△△△ - △△△△
E-mail	abcdefg-hijklmn△△@gmail.com		
受験票 送付先	〒 - 現住所と同じ		
入寮希望の有無	入寮希望 現住所から通学する 現住所以外から通学する 現住所以外の住所 〒△△△ - △△△△ 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△		

最終学歴	学 校 名		卒業(中退)年月日	
	普通教育	〇〇中学校	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	卒業 中退
海技大学校 船員通信教育	船員教育	〇〇学校	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	卒業 中退
	課程及び学籍番号		卒業(中退)年月日	
受講時の状況	現職	離職	受講指示 受ける	受講指示 受けない
	受講指示 運輸局名		運輸局・支局 海事事務所・事務局	
現職者 記入欄	会 社 名	〇〇株式会社	職 名	一等航海士
	会社住所	〒△△△-△△△△ 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△ 電話(△△△) △△△-△△△△		
離職者 記入欄	(直前の) 会社名	電話() -		
所有免許 及び免許を すべて記入	免 状 等 種 類		取 得 年 月 日	免 状 番 号
	海技免許①	四 級海技士(航海)	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△ 号
	海技免許②	五 級海技士(機関)	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△ 号
	小型船舶操縦免許証	一 級小型船舶操縦士	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△ 号
	無線従事者免許	第二級海上特殊無線技士	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△ 号

授業料等の支払い	会社払・個人払	※どちらかに必ず○をして、宛名の記載をしてください。
請求書の宛名	〇〇株式会社	
担当部署及び担当者名	〇〇部〇〇〇〇課 〇〇〇〇	
振込先等 連絡先 送付先	〒△△△-△△△△ 電話(△△△) △△△-△△△△ 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町△△-△△ 〇〇〇ビル△階 E-mail:opqrstu-vwxyz△△@gmail.com	

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

(2) 入学願書：受講時に離職している場合

海技大学校 入学願書 (三級用)		入学試験筆記試験免除の 願い出を		受験番号	
		☒ する ☐ しない			
独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 私は、海技大学校 海技士コース 三級航海 に入学を希望します。 (志望コースを○で囲う)		令和 年 月 日		記入しない 志望コースを○で囲む 記載した年月日を記載する	
住民票 どおり記入 ふりがなを 忘れずに 記入	ふりがな かいだい たろう 氏 名 海 大 太 郎	性別 ☒ 男 ☐ 女	生 年 月 日 昭和 平成 △△年△△月△△日(満△△才)		
住民票 どおり記入 ふりがなを 忘れずに 記入	ふりがな ○○けん○○○し○○○ちよう 現住所 〒△△△△-△△△△ ○○県○○○市○○○町△△-△△	連絡先の 電話番号・ メールアドレスを記入			
住民票 どおり記入 ふりがなを 忘れずに 記入	電話 (△△△) △△△△ - △△△△	日中連絡先	携帯電話 (△△△) △△△△ - △△△△		
教務課より 受験案内等 送付します	E-mail abcdefg-hijklmn△△@gmail.com				
入寮希望の 有無	受験票 送付先 〒 - 現住所と同じ	現住所以外 から通学する			
入寮の 有無を 記入	入寮希望 現住所から 通学する	現住所 以外 の住所	〒 △△△ - △△△△ ○○県○○○市○○○町△△-△△		
卒業後、 海技免状を 取得できる 学校に在籍 した場合は 船員教育欄 へ記入	最終学歴 普通教育 ○○中学校 船員教育 ○○学校 海技大学校 船員通信教育	卒業 (中退) 年月日 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 卒業 中退	○で囲む		
離職を ○で囲む 受講指示に についても 同様	受講時の 状況 現職 離職	受講指示 受ける 受けない	受講指示 運輸局名 ○○		
離職前の 会社名等を ここに記入	会社名 会社住所 〒 - 電話 () -	職名 運輸局・支局 海事事務所 事務局	失業保険受 給者の場合 のみ、記入し てください。 受講指示は 願書提出ま でに運輸局 にお問い合わせ ください。		
所有免状 及び免許を すべて記入	離職者 記入欄 (直前の) 会社名 ○○株式会社 電話 (△△△) △△△-△△△△				
個人払を ○で囲み 宛名を記載	免状等種類 海技免状① 四 級海技士 (航海) 海技免状② 五 級海技士 (機関) 小型船舶操縦免許証 一 級小型船舶操縦士 無線従事者免許 第二級海上特殊無線技士	取得年月日 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	免状番号 第 △△△△△△△△△△△△△△ 号 第 △△△△△△△△△△△△△△ 号 第 △△△△△△△△△△△△△△ 号 第 △△△△△△△△△△△△△△ 号		
個人払いの 場合は記入 不要	授業料等の支払い 会社払 個人払	※どちらかに必ず○をして、宛名の記載をしてください。			
個人払いの 場合は記入 不要	請求書の宛名 海大 太郎				
個人払いの 場合は記入 不要	担当部署及び担当者名 〒 - 電話 () - E-mail:				

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

(3) 乗船履歴記入用紙

乗船履歴については、船員手帳その他を確認し、正確に記入してください。
もし、乗船履歴の不足が判明したときは、入学が取り消されます。

船員手帳の有無を記入

航海に入学希望の方は、航海士、甲板員等の履歴を記入

機関に入学希望の方は、機関士、機関員等の履歴を記入

船舶の用途・名称を記入

乗船履歴記入用紙（船員手帳の有無）

※最近の乗船履歴を一番上に書き、日付順に過去15年以内の乗船履歴を記入してください。

乗船中の場合、下船又は終業の年月日は、記入日を記入してください。

※5年前以内の乗船履歴が含まれていない場合は、事前にご連絡ください。

※乗船履歴は、船員手帳等で確認し、正確に記入してください。

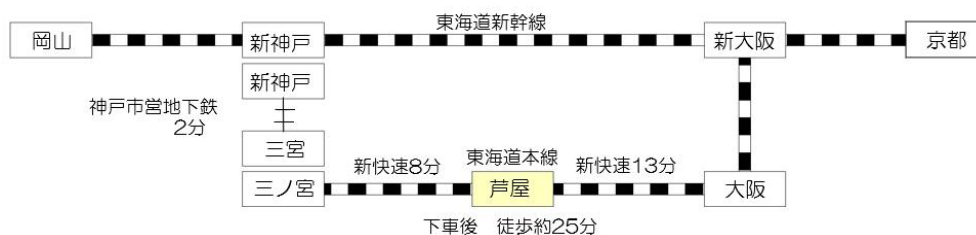
※入学の際は、必ず雇止めを行ってください。

船舶の用途 船舶の名称	総トン数	機関の種類 及び出力	航行区域 又は 従業制限	船主氏名 又は名称	職名	乗船又は就業の 年月日	下船又は終業の 年月日	乗船又は就業の 期間
油返船 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸㈱	船長	2023年 3月 25日	2023年 10月 20日	年 6月 26日
" 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸㈱	一等 航海士	2022年 10月 4日	2023年 2月 23日	年 4月 20日
" 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸㈱	一等 航海士	2022年 7月 13日	2022年 9月 7日	年 1月 26日
" 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸㈱	一等 航海士	2021年 8月 20日	2021年 6月 15日	年 9月 27日
" 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸㈱	一等 航海士	2017年 11月 13日	2018年 7月 27日	年 8月 15日
" 芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸㈱	一等 航海士	2016年 8月 26日	2017年 11月 5日	年 2月 11日
" 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸㈱	二等 航海士	2015年 11月 6日	2016年 8月 19日	年 9月 14日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
合 計								4年 7月 19日

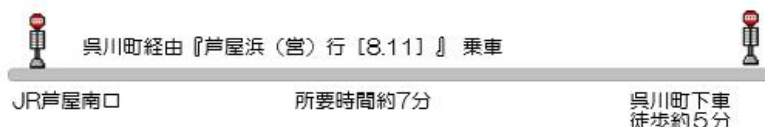
30日を1月として計算

《アクセス》

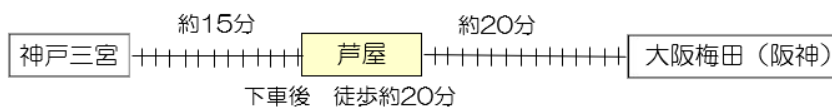
●JR



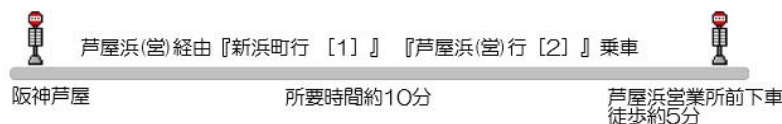
- ・阪急バス使用時



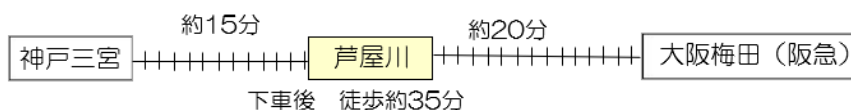
●阪神電車



- ・阪急バス使用時



●阪急電車



- ・阪急バス使用時



＜お問い合わせ先＞

〒659-0026

兵庫県芦屋市西藏町 12-24

独立行政法人海技教育機構 海技大学校

（出願手続き、給付金等（受講指示以外））

学務部教務課 TEL 0797-38-6211

E-mail: contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp

（学生寮、給付金等（受講指示））

学務部学生課 TEL 0797-38-6234

E-mail: contact-gakusei-kaidai@jmets.ac.jp

（対応時間）

平日 9:00~12:00 13:10~17:00

海技大学校公式サイト

海技大学校

<https://www.jmets.ac.jp/kaidai/>

